

府中市民クールキャンペーン 「クール・エコの集い」

府中市は、2012年8月1日、市のメインストリートにある専門店街フォーリスの前で、熱中症対策や節電対策の一環として、府中市民クールキャンペーン「クール・エコの集い」を開催しました。この行事の最後を飾ったのは、浴衣姿の市民や地元企業の従業員等約50人による打ち水です。伝統文化を取り入れて、ヒートアイランド現象をおさえようと、府中市長も浴衣姿で参加しました。使われた水は、地元の食品メーカーから提供された井戸水です。買い物客も参加し、約10分を行なわれた打ち水の結果、地表温度は31.4℃から29.4℃に下がりました。今回のイベントの参加者は、総勢約700人となりました。打ち水が市内各地で夏の恒例行事となるよう、今後も啓発してまいります。



カーボン・オフセット 事業の実施

府中市は、長野県佐久穂町と姉妹都市として約30年の交流を続けています。2011年7月、長野県が進める「森林の里親促進事業」の主旨に基づき、府中市と佐久穂町は森林整備協定を結びました。府中市の家庭ごみ等の有料袋を焼却することで排出されるCO₂相当量の一部を、佐久穂町において森林整備を実施することで相殺させる「カーボン・オフセット」を行ないました。2011年度の森林整備は約20haで、森林CO₂吸収量は、73.4t-CO₂/年と



なりました。お互いの住民が自然に親しみ、交流する活動にも役立っています。

森の手入れでさわやかな汗 森林間伐体験学習事業

府中市の小中学生に、森林の大切さや、森を守る仕事を知る機会として森林間伐体験学習を実施しております。2012年度は7月26・27日に佐久穂町の八千穂レイクで一泊二日のプログラムを行ない、約60人の親子が参加しました。子どもたちは、南佐久北部森林組合の方々に教えてもらいながらノコギリを使って枝を切り、森を守るには人手がかかることを実感しました。また、水源地で自然の水のおいしさを味わったり、地元のおいしい食べ物を自分たちで調理して食べたりするプログラムは子どもたちにも大評判。五感をフルに使う2日間になりました。

